

2025年度 上越教育大学出前講座 (振興協力会法人会員様向け)

目次

出前講座について 1
申込み方法等 2
出前講座テーマ等一覧 3
出前講座概要(24講座) 4
出前講座申込書(別記第1号様式) 13
出前講座実施報告書(別記第3号様式) 14
出前講座アンケート 15

出前講座について

上越教育大学では、地域の学校等の教育関係機関、地域の住民団体及び企業等の求めに応じて、大学教員が出向して講義等を行う「出前講座」を実施しております。

出前講座は、大学の教育と研究の成果を広く地域社会に還元するための地域貢献活動の一環として行われている事業です。どうぞお気軽にご利用ください。



振興協力会法人会員様の講習料について

通常、企業等の団体を対象とした出前講座は、講習料(1講座につき20,000円)と講師旅費(実費)をご負担いただいております。

振興協力会法人会員様を対象とした出前講座は、先着10法人まで(1法人につき1講座まで)講習料20,000円を振興協力会で負担します。お申込みの際、法人会員である旨をお知らせ願います。講師旅費は、実施会場が、合併前の旧上越市内の場合は必要ありません。

振興協力会に関するお問い合わせは、下記振興協力会事務局までお願いいたします。

【上越教育大学振興協力会】

地域貢献活動に積極的に取り組んでいる上越教育大学の発展・充実を応援しようと設立された、地域のみなさんと上越教育大学をつなぐ架け橋となる団体です。

◆上越教育大学振興協力会事務局

Tel:025-521-3292

E-mail: kakehasi@juen.ac.jp

上越教育大学振興協力会

検索



申込み方法等

<申込み方法>

- ① 「出前講座テーマ等一覧」からご希望の講座をお選びの上、13ページの「出前講座申込書（別記第1号様式）」を作成し、下記申込み先までお送りください。「**申込代表者**」欄には**住所、法人会員名、代表者名を記入してください。お申し込みの際、法人会員である旨をお知らせください。**また、「出前講座申込書（別記第1号様式）」の講座名は、3ページの「出前講座テーマ等一覧」に記載してあるテーマ名を記入してください。
- ② 申込書受付後は、事務担当者が担当講師と日程等について調整します。担当講師と調整済みの場合は、その旨ご連絡ください。講座実施の可否が決定しましたら、大学よりメールもしくはFAXにて「出前講座承諾通知書（第2号様式）」（以下、「承諾書」という）をお送りします。

<実施報告書及びアンケートの提出>

講座終了後は、1ヶ月以内に14ページの「出前講座実施報告書（別記第3号様式）」及び15ページの「出前講座アンケート」を作成し、下記申込み先までお送りください。また、「出前講座実施報告書（別記第3号様式）」の講座名は、3ページの「出前講座テーマ等一覧」に記載してあるテーマ名を記入してください。

<費用>

講習料は、振興協会法人会員様からのお申込みの場合には必要ありません。（先着10法人まで（1法人につき1講座まで））

また講師旅費は、実施会場が平成17年合併以前の旧上越市内の場合には必要ありません。旅費の算定方法やお支払い方法については、特段の定めは設けておりません。詳しくは担当講師と直接ご相談ください。

講習料（1講座につき 20,000円）

※振興協会法人会員様からのお申込みの場合
は不要です。（先着10法人、1法人につき1講座まで）



講師旅費（実費）

※実施会場が平成17年合併以前の
旧上越市内の場合には必要ありません。

<注意事項>

- ・担当講師に対する謝金は不要です。
- ・2講座目からのお申込みは有料となります。
- ・承諾書送付後に、天災等不測の事態が生じ、講座の実施が困難になったときは、中止する場合がありますので、予めご了承ください。
- ・担当講師の研究分野等に関する詳しい情報は、上越教育大学ホームページ（<https://www.juen.ac.jp/>）「上教大で教える先生」から検索することができます。

<お問い合わせ先について>

- ・講座内容に関するお問い合わせは、4ページ以降の「出前講座概要」に記載してある、担当講師の電話番号・メールアドレスへ直接お問い合わせください。その他、お申込み方法などのお問い合わせは、下記問い合わせ先までご連絡いただきますようお願いいたします。

申込み・問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学研究連携課

TEL 025-521-3665 FAX 025-521-3621 E-mail chiki@juen.ac.jp

URL <https://www.juen.ac.jp/>（「地域の方へ」から検索）

受付時間 平日（月～金） 9:00～17:00



出前講座テーマ等一覧

※企業向けの講座のみ記載しております。

分野	テーマ名	担当講師		受講対象者	掲載頁
総合・情報	2 ファシリテーター養成－ホワイトボード・ミーティング*入門－	大場 浩正	教授	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、大学生、地域住民、企業等	4
	3 プログラミング入門および初級講座	大森 康正	副学長／教授	教員、保護者、地域住民、企業	4
	4 プログラミングを行う課外活動等の支援	大森 康正	副学長／教授	小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	5
心・道徳	26 心配と心の健康	田中 圭介	准教授	教員、保護者、小学生（高学年）、中学生、高校生、地域住民、企業	5
国語	32 ちょっと気になる国語の話	舩城 梓	講師	保護者、地域住民、企業、幼児、小学生、中学生、高校生	6
英語	35 英語耳？ 英語脳？ スイッチONのコツ 教えます！	阿部 雅也	准教授	教員、中学生、高校生、地域住民、企業	6
社会・国際教育	38 学校『地図帳』から学ぶ地理の世界	志村 喬	副学長／教授	教員、保護者、地域住民、企業	6
	40 地域の災害に備える	山縣 耕太郎	教授	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	7
	41 歩いて見よう高田城下町の地形	山縣 耕太郎	教授	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	7
	43 地球温暖化：なぜおきる？ 何がおきる？	山縣 耕太郎	教授	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	7
	44 発展途上国からSDGsを考える	山縣 耕太郎	教授	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	8
	45 世界の国歌を学ぼう	小島 伸之	教授	教員、保護者、中学生、高校生、地域住民、企業	8
	46 戦後日本の巨大ロボットアニメー社会とその変化との関係から－	小島 伸之	教授	教員、高校生、地域住民、企業	8
	47 知識基盤社会における教育の世界的動向	大前 敦巳	教授	教員、保護者、中学生、高校生、地域住民、企業	9
49 中東での暮らしと人びとの習慣～ヨルダンを中心に～	藤谷 元子	准教授	教員、地域住民、企業、中学生、高校生	9	
算数・数学・理科	53 海外植物調査の実際（ネパール・ムスタン地域の植物相調査を例として）	五百川 裕	教授	教員、保護者、中学生、高校生、地域住民、企業	9
	54 上越市の絶滅危惧植物	五百川 裕	教授	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	10
	60 出前実験	小川 佳宏	教授	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	10
体育	68 体づくり～体調の整え方～	周東 和好	教授	地域住民、企業	10
	69 やわらかなからだ～柔軟プログラムの提供～	周東 和好	教授	幼児、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	10
	70 スポーツ・運動ができる・上手くなる過程	長谷川 晃一	講師	教員、保護者、中学生、高校生、地域住民、企業	11
	71 スポーツ・運動の指導者にとって必要な能力	長谷川 晃一	講師	教員、保護者、地域住民、企業	11
	73 体操の補助	長谷川 晃一	講師	教員、小学生、中学生、企業	11

■いじめ・生徒指導研究研修センター

	テーマ名	担当講師		受講対象者	掲載頁
74	いじめ・不登校等生徒指導	高橋 知己 大門 秀司 生方 直 辻村 貴洋 寺戸 武志 鎌須賀 洋一	教授 准教授 講師 准教授 准教授 准教授	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、企業等	12

出前講座概要

02		ファシリテーター養成ーホワイトボード・ミーティング®入門ー	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 大場 浩正 教授	電話 E-mail	025-521-3306 hohba
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、 大学生、地域住民、企業等	講義形式 講義時間	ワークショップ 1時間～3時間（要相談）
注意事項	具体的な内容に関しては要相談		
講 座 概 要	<p>ファシリテーションとは、一人一人の意見を生かし、合意形成や課題解決を進める話し合いの技術であり、私たちが「本来持っている力」を発揮して、みんなで意見を出し合いながら、チームの力を最大化していくための技術です。本講座では、ファシリテーション技術の一つである「ホワイトボード・ミーティング®」の進行技術の習得をめざします。また、ファシリテーターやサイドワーカーの技術を習得し、ホワイトボードを使用した合意形成に有効な会議フレーム等を中心にその進め方を練習します。教師のみならず、児童・生徒がファシリテーターになると授業や学級がアクティブになります。企業では、社内ファシリテーター育成で人材育成・組織開発・会議改革・アイデア創出に貢献します。</p> <p>ホワイトボード・ミーティング®とは、ホワイトボードを活用して進める会議の方法です。進行役をファシリテーター、参加者をサイドワーカーと呼びます。ファシリテーターが参加者の意見をホワイトボードに書くので、何を話しあっているのかが明確になり、効率的、効果的に授業や会議が進みます。2003年にちよんせいこ氏（株式会社ひとまち）が開発し、教育、ビジネス、医療・福祉、行政、NPO・ボランティアなど様々な分野で取り組まれています。</p>		

03		プログラミング入門および初級講座	
担当講師 (所属・氏名・職名)	副学長／自然・生活教育学系 大森 康正 教授	電話 E-mail	025-521-3685（研究室） 025-521-3681（情報メディア教育センター） oomori
受講対象	教員、保護者、地域住民、企業	講義形式 講義時間	講義・演習 1回1時間以上（複数回にわたった連続講座にも対応します）
注意事項	受講生が使うPC（WindowsあるいはMac）などの実施環境をご準備ください。またインターネットに接続できる環境もご用意ください。		
講 座 概 要	<p>2021年度から小学校から高等学校までプログラミング教育が完全実施されます。本講座では、プログラミング的思考と何か、プログラミング教育は何のために行われるのか、プログラミングって難しいのでは、プログラミングをちょっと体験してみたい、中学校技術や高等学校情報で扱うプログラミング言語を体験したい、最新のプログラミング言語に学んでみたいなど日頃の疑問に対して、講義、演習を通して学ぶことができます。プログラミングの入門は、ビジュアル系プログラミング言語 Scratch、小型ロボット toio などを使います。初級講座以上は、プログラミング言語 python、Google Apps Script による提携業務の自動化など受講者の希望・経路に応じて実施いたします。</p>		

※ E-mailはアルファベット表記の後ろに@juen.ac.jpを加えてください。

※ □マークの講座はオンライン対応可能な講座です。なお、オンラインミーティングの設定は原則、依頼者側で行ってください。

□ 04		プログラミングを行う課外活動等の支援	
担当講師 (所属・氏名・職名)	副学長／自然・生活教育学系 大森 康正 教授	電話 E-mail	025-521-3685 (研究室) 025-521-3681 (情報メディア教育センター) oomori
受講対象	小学生、中学生、高校生 地域住民、企業	講義形式	講義・演習
		講義時間	1回1時間以上(複数回にわたる連続講座にも対応します)
注意事項	受講生が使うPC (Windows あるいはMac) などの実施環境をご準備ください。		
講 座 概 要	<p>小学校から高等学校で行われる課外活動およびクラブ活動などで行うプログラミングについて講師として支援を行います。内容は各学校の実情に合わせて行います。ただし、継続的な活動を行うためにPCなどのプログラミング環境は学校側で準備をお願いします。</p> <p>特に上越市・妙高市・糸魚川市を対象にR3年度から行われている以下のプログラミングコンテスト(本大会11月)への出場を目指した支援を行います。競技部門の優勝者は全国大会への出場が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・U-16&大人プログラミングコンテスト上越妙高大会競技部門への参加支援 ・Scratchを使ったプログラミングコンテスト作品部門への参加支援 <p>参考：大会HP http://joetsu.u16procon.org/</p>		

□ 26		心配と心の健康	
担当講師 (所属・氏名・職名)	発達支援・心理臨床教育学系 田中 圭介 准教授	E-mail	keisuke
受講対象	教員、保護者、小学生(高学年)、 中学生、高校生、地域住民、企業	講義形式	講義・演習 (簡単なワークやエクササイズ)
		講義時間	1時間～1時間30分
注意事項	講演内容は、相談により決定します。心配やストレス以外にも、ポジティブな学級づくり、社会的スキル、問題解決スキル、強みの活かし方、マインドフルネス、持続的幸福的作り方など、ストレスを取り巻く様々なテーマに対応します。出前講座の実施に際して、研究室の研究活動(児童生徒へのアンケート調査等)にご協力をお願いする場合がございます。		
講 座 概 要	<p>普段の生活の中で様々な心配事に遭遇することがあります。勉強、人付き合い、健康、お金など、日常生活を取り巻く色々なことが心配の種になりえます。根強い『心配性』はストレスとなり、心や身体、生活リズムに様々な影響を与えます。</p> <p>しかしながら、心配をすることは、本来、私たちが生きる上で必要不可欠な「力」であると考えられています。上手く付き合うことができれば、心配性は決して嫌悪すべきものではありません。そこで、本講座では、心理学の観点から「心配とは何か」について解説し、その上で、「心配性と上手に付き合っていく方法」のヒントを認知行動療法と呼ばれる心理療法のテクニックをもとに紹介します。</p>		

※ E-mailはアルファベット表記の後ろに@juen.ac.jpを加えてください。

※ □マークの講座はオンライン対応可能な講座です。なお、オンラインミーティングの設定は原則、依頼者側で行ってください。

□ 32		ちょっと気になる国語の話	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 船城 梓 講師	電話 E-mail	025-542-3575 azusa
受講対象	保護者、地域住民、企業、幼児、小学生、 中学生、高校生	講義形式 講義時間	講義・演習のいずれでも可 45分、1時間30分、1時間45分 等いずれも可
注意事項	「国語」科目に関係のある話であれば、比較的幅広く講義内容を変更することが可能ですので ご相談ください。		
講 座 概 要	本出前講座は、国語科目に関連する大学での学びの一部を取り上げて、改めて日本語について考えを深めることを目的とします。日本で生きていけば、日ごろから普通に使っている日本語。大学での学びでは、日本語や日本文学の仕組みを俯瞰的に学ぶことが多くなります。その中で見えてくることは、実は誰もが日本語や日本文学のことを良く知らない、ということです。例えば、国語と日本語はどう違うか。敬語の仕組みは誰が決めているのか。漢字の「学」という字はなぜ「學」と書くこともあるのか。なぜ小説を読むとき、登場人物の「思っていること」「感じたこと」をしつこく聞かれるのか。古典のどこがおもしろいのか。漢文をなぜ勉強するのか、等々。近くて遠い日本語・日本文学と改めて仲良くなってみましょう。		

□ 35		英語耳？ 英語脳？ スイッチONのコツ 教えます！	
担当講師 (所属・氏名・職名)	学校教員養成・研修高度化センター 阿部 雅也 准教授	電話 E-mail	025-521-3401 abemasa
受講対象	教員、中学生、高校生、地域住民、企業	講義形式 講義時間	演習 50分（50分を基本に、長くても短くても何分でもOKです。）
注意事項	英検などの外部試験対策に特化して（LSWを個別にor組み合わせて）の対応も可。また、英語科の先生向け校内研修にも対応します。まずはメール等でご相談ください。		
講 座 概 要	「英語が聞きとれない…」「話すネタが頭に浮かばない…」こんな経験、ありませんか？英会話は相手のボールをキャッチする所から。本講座では普段おなじみの教科書や音声教材を使った最新のトレーニング法を体験しつつ、英語が劇的に使えるようになるコツを、応用言語学の視点から伝授します。		

38		学校『地図帳』から学ぶ地理の世界	
担当講師 (所属・氏名・職名)	副学長／人文・社会教育学系 志村 喬 教授	電話 E-mail	025-521-3339 shimura
受講対象	教員、保護者、地域住民、企業	講義形式 講義時間	講義 1時間
講 座 概 要	あまり知られていませんが、小・中・高等学校の社会科（地理・歴史科）で配布される学校用『地図帳』も法的に教科書で、文章主体の「教科書」とは異なる社会的情報を掲載しています。その豊富な内容は、学校卒業後も十分価値を持っています。本講座では、現在使われている『地図帳』、過去に使われた『地図帳』を紹介し、それらから日本と世界の地理今昔を読み解いていきます。		

※ E-mailはアルファベット表記の後ろに@juen.ac.jp を加えてください。

※ □マークの講座はオンライン対応可能な講座です。なお、オンラインミーティングの設定は原則、依頼者側で行ってください。

40		地域の災害に備える	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 山縣 耕太郎 教授	電話 E-mail	025-521-3331 kotaro
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式	講義・演習
		講義時間	1時間～2時間（相談の上決定）
講 座 概 要	<p>日本では、毎年いくつもの災害が発生しています。日本は、世界の中でも多様な災害が高い頻度で発生する地域です。そのため、日本列島で生活する私たちは、そうした災害と折り合って暮らしていかなければなりません。そのために、まず必要なのは、災害や、災害を引き起こす現象について、よく知るということです。</p> <p>例えば、地震災害は、主に地震動（揺れ）によって引き起こされます。しかし、それぞれの地震災害によって、災害の様相は異なります。これは、地震災害の被害が生じる過程に、地域の自然的および人文・社会的な条件が作用しているからです。そのため災害を知るということは、地域を知るということにつながります。</p> <p>本講座では、地域で生じる可能性がある災害の特徴を確認し、その影響範囲と対策について考えます。1コマの講演の形でも実施できますし、複数コマで実施できる場合には、町歩きを取り入れたり、図上訓練（DIG）や防災訓練と組み合わせることも可能です。</p>		

41		歩いて見よう高田城下町の地形	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 山縣 耕太郎 教授	電話 E-mail	025-521-3331 kotaro
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式	野外巡検または講義
		講義時間	1時間～3時間（相談の上決定）
講 座 概 要	<p>今から約400年前、松平忠輝は、海岸付近にあった福島城から高田に城を移しました。その理由は、高田の地形が城の守りを固めるために適していたからだと考えられます。一見、とても平坦に思える高田市街地周辺の地形も、詳しく見ると微妙な凸凹があることに気がつきます。こうした凸凹は、川がつくった地形です。高田城は、この地形をうまく利用し、さらに人為的な改変を加えて守りを固めています。一方、川沿いに城を造ったため、高田城下町は、水害と戦わなければならなくなりました。しかし、高田城下町は、地形を考慮して、うまく水害を避けられるようにつくられています。</p> <p>本出前講座では、実際に高田城下町を歩いて地形を観察しながら、江戸時代の人々の知恵と工夫を知るとともに、上越地域の自然について学びます。町歩きのコースは相談の上で、決定します。また、野外巡検ではなく、高田城下町の成り立ちと地形との関係を講義形式で説明することもできます。春日山城や福島城とあわせてお城と地形との関係をお話しすることもできます。</p>		

43		地球温暖化：なぜおきる？何が起きる？	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 山縣 耕太郎 教授	電話 E-mail	025-521-3331 kotaro
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式	講義・実験
		講義時間	1時間～2時間（相談の上決定）
講 座 概 要	<p>地球温暖化に対しては、喫緊のグローバルな環境問題として国際的な取り組みが行われているところです。しかし、その深刻さについては、日本にいと、いまひとつとびんと来ない部分があるのではないのでしょうか。しかし、世界には、すでに人の生死に関わる深刻な事態に至っているところも多く存在します。これまで、担当者は、寒冷地域（ロシアカムチャツカ半島）、熱帯高山（アンデス山脈、ケニア山、キリマンジャロ山）や、乾燥地域（ナミビア）など、自然環境が厳しい地域で調査を行ってきた中で、地球温暖化の深刻な影響をいくつか見てきました。</p> <p>本講座では、実験を通して地球温暖化のメカニズムを理解してもらいながら、担当者が見てきた現場を含めて、世界における地球温暖化の現状を紹介します。また、温暖化の日本への影響や、世界的に深刻な問題となる水の問題、食糧の問題について説明します。その上で将来に向けて私たちがどのような取り組みを行うべきかを考えたいと思います。</p>		

※ E-mail はアルファベット表記の後ろに@juen.ac.jp を加えてください。

※ □マークの講座はオンライン対応可能な講座です。なお、オンラインミーティングの設定は原則、依頼者側で行ってください。

□ 44		発展途上国からSDGsを考える	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 山縣 耕太郎 教授	電話 E-mail	025-521-3331 kotaro
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式	講義・演習
		講義時間	1時間～2時間（相談の上決定）
講座概要	<p>SDGs (Sustainable Development Goals) とは、地球環境に配慮しながら持続可能な暮らしや社会を営むために、先進国も発展途上国も含めた全世界が取り組むべき国際目標です。すなわち、地球が今日抱える様々な課題を解決するための目標です。世界には、これらの課題が、極めて深刻な状況にある地域や国が多くあります。しかし、先進国であり、自然環境が穏やかな日本では、そうした深刻な状況を感じにくいところがあるかもしれません。</p> <p>本講座では、担当者がこれまで調査してきた発展途上国における環境問題や地域問題（地球温暖化によるアンデス山脈や東アフリカにおける氷河縮小とその影響；南部アフリカにおける砂漠化と水問題；アムール川流域の開発とオホーツク海の海洋資源；極東ロシアにおける森林破壊；アフリカにおける貧困や差別の問題など）を通して、SDGsの目標と意義について理解し、日本との関わりや、私たちができることについて考えます。</p>		

□ 45		世界の国歌を学ぼう	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 小島 伸之 教授	電話 E-mail	025-521-3332 kojima
受講対象	教員、保護者、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式	講義
		講義時間	1時間30分
講座概要	<p>オリンピックやワールドカップやWBCなどの機会に、世界のいろいろな国の国歌を聞いた経験は誰にでもあると思います。一方、その歌詞の内容については意外と知らない人が多いのではないのでしょうか。</p> <p>各国の国歌には様々なタイプのものであり、それぞれその国の歴史を反映し、「その国のかたち」を示す内容が含まれています。世界の国歌の歌詞には、意外な内容なものも多く、多くのドラマが潜んでいます。</p> <p>国歌の歌詞を知ることを通じて、世界の社会の成り立ちやありかたを学ぶことができるのです。</p> <p>この講座では、世界のいろいろな国の国歌を、その歌詞を参照しつつ実際に聞きながら、世界の国家やその歴史について、比較をしながら学びます。</p>		

□ 46		戦後日本の巨大ロボットアニメー社会とその変化との関係から一	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 小島 伸之 教授	電話 E-mail	025-521-3332 kojima
受講対象	教員、高校生、地域住民、企業	講義形式	講義
		講義時間	1時間30分
講座概要	<p>日本初のTVアニメシリーズである「鉄腕アトム」（1963年放映開始）以降、ロボットアニメは日本アニメを代表するジャンルの一つであり続けています。それらのうち、「マジンガーZ」（1972年放映開始）に始まる、搭乗型の巨大ロボットが登場するアニメー巨大ロボットアニメーは、日本ではメジャーなアニメジャンルとして確立しています。他方、世界では「ロボット」といえば自律型のを指すことが一般であり、搭乗型の「ロボット」という概念が一般的となっている日本の状況は実はきわめて特殊なのです。</p> <p>本講座ではロボットという用語を初めて用いたチェコの作家カレル・チャペックから、その影響を受けた手塚治虫を介して、日本の巨大ロボットアニメに至る過程について、社会的歴史的文化的背景と関連付けながら説明をします。</p>		

※ E-mailはアルファベット表記の後ろに@juen.ac.jp を加えてください。

※ □マークの講座はオンライン対応可能な講座です。なお、オンラインミーティングの設定は原則、依頼者側で行ってください。

47	知識基盤社会における教育の世界的動向		
担当講師 (所属・氏名・職名)	学校教育学系 大前 敦巳 教授	電話 E-mail	025-521-3380 ohmae
受講対象	教員、保護者、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式 講義時間	講義 1時間30分程度
注意事項	講義内容（学校段階、内容の焦点など）は、受講者の要望に応じて相談して決めることができます。		
講 座 概 要	<p>本講座は、グローバル化に伴う知識基盤社会への移行に向けた教育政策、OECD・ユネスコなどの国際機関における教育課題、特にフランスの移民と教育の問題に焦点を当てた学力向上策を題材に、国際的な視点から教育の動向を紹介しディスカッションを行います。</p> <p>具体的には、OECD-PISA 学習到達度調査で測定される知識技能を社会に活用する能力（コンピテンシー）、国際連合で2030年に向けて策定された「持続可能な開発目標（SDGs）」、日本の科学技術計画（Society 5.0）に向けた教育政策、多文化社会に直面するフランスの学校教育事情などの問題を取り上げます。</p>		

49	中東での暮らしと人びとの習慣～ヨルダンを中心に～		
担当講師 (所属・氏名・職名)	国際交流推進センター 藤谷 元子 准教授	電話 E-mail	025-521-3373 fujitani
受講対象	教員、地域住民、企業、中学生、高校生	講義形式 講義時間	講義 1時間
注意事項	講座形式は、ご相談に応じ、一部演習形式を含むこともできます。		
講 座 概 要	<p>中東の地域や国々には、どのようなイメージがあるでしょうか。また、中東の一国であるヨルダンについて、どのようなことをご存じでしょうか。</p> <p>この講座では、担当者がかつて仕事で滞在した中東の一国であるヨルダンの基本的な情報とそこに住む人々の飲食を中心とした暮らしぶり・習慣やヨルダン人をはじめとする中東の人々と出会った際、知っておいていただきたいマナー等を紹介し、ヨルダンでは、日本人にとってあまりなじみがない宗教を信仰している人々が存在しています。多少なじみのある宗教でも、日本で見慣れた形とは、かなり違う形で信仰されていることがあります。異文化理解という点から、ヨルダン人をはじめ中東の人々と交流する際、必要な言語（アラビア語・英語など）にも可能な範囲で触れつつ、マナー等について、主に講義者の体験の視点で説明し、受講者の方々にもできる範囲で考えていただきます。</p>		

53	海外植物調査の実際 （ネパール・ムスタン地域の植物相調査を例として）		
担当講師 (所属・氏名・職名)	自然・生活教育学系 五百川 裕 教授	E-mail	iokawa
受講対象	教員、保護者、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式 講義時間	講義 1時間
講 座 概 要	<p>国際学術調査としての海外における植物調査が、どのように行われているのかを、ネパールのムスタン地域での実例をあげて紹介します。</p> <p>ムスタン地域は、政治的事情等により外国人の立ち入りが規制されてきたために、近年まで植物を含む国際学術調査が充分に行われてきませんでした。ヒマラヤ山脈の標高2500m以上の高地にありながら、気温は比較的温暖であるものの、降水量が少なく極めて乾燥した独特の気候と、そこに生育する植物と動物の関係などを、写真とビデオを使って平易に解説します。</p>		

※ E-mail はアルファベット表記の後ろに@juen.ac.jp を加えてください。

※ □マークの講座はオンライン対応可能な講座です。なお、オンラインミーティングの設定は原則、依頼者側で行ってください。

 54	上越市の絶滅危惧植物		
担当講師 (所属・氏名・職名)	自然・生活教育学系 五百川 裕 教授	E-mail	iokawa
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式	講義
		講義時間	1 時間
講座概要	上越市版レッドデータブック作成のための調査結果に基づき、上越市内に生育する植物のうち、環境変化等により減少し絶滅のおそれのあるものが多数ある現状を、実例を写真で示しながら紹介し、生物多様性の保全の意義や方策について、平易に解説します。身近な地域、各区ごとに焦点を絞った講座も対応が可能です。		

60	出前実験		
担当講師 (所属・氏名・職名)	自然・生活教育学系 小川 佳宏 教授	電話 E-mail	025-521-3433 ogawa
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式	実験
		講義時間	1 時間程度
注意事項	実験の内容は受講者と相談の上、決めます。		
講座概要	科学を身近に感じ、興味や関心を深めるには、実際に体験することが一番です。この講座では、「手作りスピーカー」、「カメラの模型の作成」、「偏光万華鏡の作成」、「光通信の実験」、「液体窒素の実験」などの実験を皆さんの教室にお届けいたします。		

68	体づくり～体調の整え方～		
担当講師 (所属・氏名・職名)	芸術・体育・教科横断・総合教育学系 周東 和好 教授	電話 E-mail	025-521-3578 shuto
受講対象	地域住民、企業	講義形式	講義・演習・実技 (ご相談に応じます。)
		講義時間	1 時間～1 時間 30 分 (ご相談に応じます。)
講座概要	今日のあなたの体調は良いですか。 健康な体づくりを目指して、日々の健康維持に役立てることをねらった簡易な実技によって、体調を把握する方法、体調を整える方法を学びます。		

69	やわらかなからだ～柔軟プログラムの提供～		
担当講師 (所属・氏名・職名)	芸術・体育・教科横断・総合教育学系 周東 和好 教授	電話 E-mail	025-521-3578 shuto
受講対象	幼児、小学生、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式	講義・演習・実技 (ご相談に応じます。)
		講義時間	45 分～2 時間(ご相談に応じます。)
講座概要	柔軟性を獲得するには、継続的な取り組みを必要としますが、やり方によっては結果を得るまでの期間は大きく異なります。また、動きの柔らかさについてはあまり問題視されていないのが現状です。 日常のちょっとした動き方の工夫で身体は柔らかく変化します。 本講座では、からだや動きの柔らかさについて、簡易な実技を通して学びます。		

※ E-mail はアルファベット表記の後ろに@juen.ac.jp を加えてください。

※ □マークの講座はオンライン対応可能な講座です。なお、オンラインミーティングの設定は原則、依頼者側で行ってください。

□ 70		スポーツ・運動ができる・上手くなる過程	
担当講師 (所属・氏名・職名)	芸術・体育・教科横断・総合教育学系 長谷川 晃一 講師	電話 E-mail	025-521-3566 koichi
受講対象	教員、保護者、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式 講義時間	講義 1 時間 30 分
講座概要	<p>スポーツや運動をしてきて、できなかった動きが突然できるようになった経験や、できていた運動が突然できなくなってしまった経験はありませんか？このような不思議な現象は、実は誰にでも起こりうることで、スポーツ運動学という学問では、動きの上達過程としてきちんと定義されています。</p> <p>本講義では、スポーツ・運動ができる・上手くなる過程を理解することで、どのように練習を進めればよいのかを自分自身で工夫したり、適切な練習内容や回数を考えるためのヒントを得ることを目指します。</p>		

□ 71		スポーツ・運動の指導者にとって必要な能力	
担当講師 (所属・氏名・職名)	芸術・体育・教科横断・総合教育学系 長谷川 晃一 講師	電話 E-mail	025-521-3566 koichi
受講対象	教員、保護者、地域住民、企業	講義形式 講義時間	講義 1 時間 30 分
講座概要	<p>スポーツ運動学という学問では、スポーツ・運動の指導者にとって必要なのは、観察、交信、代行、処方の能力であるとされています。</p> <p>本講座では、これら4つの能力について、自身の指導経験と照らし合わせて理解することで、よりよい指導実践に繋がることを目指します。</p>		

73		体操の補助	
担当講師 (所属・氏名・職名)	芸術・体育・教科横断・総合教育学系 長谷川 晃一 講師	電話 E-mail	025-521-3566 koichi
受講対象	教員、小学生、中学生、企業	講義形式 講義時間	実技 1 時間 30 分
講座概要	<p>体操において、安全に正確な技を身につけるには、指導者の補助できる能力は欠かせません。しかし、仕方が分からずに補助に入ってしまったことで、学習者の動きを妨げてしまったり、危険な目に合わせてしまったりする危険性もあります。</p> <p>本講座では、補助には技や学習者に合わせた適切な間合いや力加減を学びます。種目は、主にマット運動、跳び箱運動、鉄棒運動です。</p>		

※ E-mail はアルファベット表記の後ろに@juen.ac.jp を加えてください。

※ □マークの講座はオンライン対応可能な講座です。なお、オンラインミーティングの設定は原則、依頼者側で行ってください。

■いじめ・生徒指導研究研修センター

74		いじめ・不登校等生徒指導	
担当講師 (所属・氏名・職名)	いじめ・生徒指導研究研修センター 高橋 知己 教授 大門 秀司 准教授 生方 直 講師 辻村 貴洋 准教授 寺戸 武志 准教授 蜂須賀 洋一 准教授	電話 E-mail	025-521-3541 tomomi daimon ubukata tujimura terado yoichi
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、 企業等	講義形式	講義・講演・演習
		講義時間	要相談
講座概要	<p>いじめ・生徒指導研究研修センターは、「いじめ・生徒指導に関する教育研究の推進」、「教育機関との連携」、「社会への貢献」を事業の柱に、現代の社会的な状況を背景にしたいじめ・生徒指導に関する理論的、実践的な研究を行うとともに、教員研修などの支援を行っています。</p> <p>子どもたちの命を守るため、わたしたちができること、考えなければならぬこと、大人がとれる対応はまだあるはず。チームとして、家庭と地域と学校で考えていきませんか？</p> <p>講座の内容は、受講者（各機関等）の課題及び要望等を踏まえ、決定します。</p> <p>講師の希望がある場合は、お申込みの際にお知らせください。</p> <p>【いじめ・生徒指導研究研修センター】</p> <p>https://www.juen.ac.jp/O50about/O20campus/OO1center_library/700rbgc.html</p>		

※ E-mail はアルファベット表記の後ろに@juen.ac.jp を加えてください。

※ □マークの講座はオンライン対応可能な講座です。なお、オンラインミーティングの設定は原則、依頼者側で行ってください。

出前講座申込書

上越教育大学長 殿

〈申込代表者〉 住 所
機 関 ・ 団 体 名
役 職 名
氏名（学校長名）

出前講座の実施を下記のとおり申し込みますので、承認願います。

記

1. 講座番号
講座名
2. 講師氏名
3. 講義日時
4. 講義場所（住所）
5. 受講対象者及び人数
6. 目的及び内容
7. 連絡先（担当者・電話番号・メールアドレス）

出前講座実施報告書

上越教育大学長 殿

〈申込代表者〉住 所
機 関 ・ 団 体 名
役 職 名
氏名（学校長名）

出前講座を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

1. 講座番号
講座名

2. 講師氏名

3. 講義日時

4. 講義場所

5. 受講対象者及び人数

6. 目的及び内容

7. 意見・感想

8. その他（今後扱ってほしいテーマなどがありましたら、お書きください。）

